

施策評価シート

施策コード	1202	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	文化財の保存・活用	所属名 教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○本市は、恵まれた自然環境のもとで、長い歴史と伝統文化に支えられ、山陰地方を代表する都市として発展したまちであり、史跡鳥取城跡附太閤ヶ平、史跡青谷上寺地遺跡、史跡栃本廃寺跡など数多くの文化財が所在しています。</p> <p>○市民が親しみを持って文化財に接し、郷土の歴史と文化への理解を深めることは、市民の郷土愛や誇りを醸成するとともに、文化交流が促進され、本市の魅力や活力の創造につながります。</p> <p>○文化財とその周辺の歴史・文化を生かしたまちづくりは、市民をはじめ観光客など来訪者の魅力となり、観光や地場産業の振興、交流人口の増加などによる地域の活性化が期待されます。</p> <p>○市民一人ひとりが先人から継承した多くの貴重な文化財の重要性を認識し、地域が一体となって積極的に保護し、活用を推進しつつ後世に引き継ぐことが必要です。</p>
めざす方向	歴史と文化の薫りに満ちた活力のあるまちづくりを推進し、文化財への愛護精神の高揚を図るとともに、保護と活用により郷土の誇りである文化財を次代へ継承します。また、本市の誇り得る文化財を全国へ発信し、夢のあるふるさとづくりにつなげます。
達成するための対策・手段	<p>①文化財の保護と整備</p> <p>②文化財保護のための地域活動の推進</p> <p>③文化施設の充実・体系的整備</p> <p>④鳥取城跡大手登城路の復元と観光拠点化</p> <p>⑤古代米栽培・子ども考古学教室等の体験活動の推進</p> <p>⑥発掘調査・改修時等における現地説明会の開催</p> <p>⑦普段は公開していない史跡等の特別公開</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合	%	目標	0	0	68.5	0	0
				実績	0	0	62	0	0
				目標達成率			91%		
		(指標の説明) 市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。(基準値は平成21年度)							
	2	主な文化財施設への入込数	人	目標	100000	101000	102000	103000	104000
				実績	108052	103366	110629	102308	0
				目標達成率	108%	102%	108%	99%	
		(指標の説明) 鳥取市歴史博物館、鳥取市因幡万葉歴史館、仁風閣、鳥取市あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館の入込数の合計。(基準値は平成21年度)							
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
目標達成率									
(指標の説明)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	411,405	420,551	445,599	502,295	0

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>本市にある貴重な文化財の保護、整備に努めた。鳥取城跡、旧美敷水源地下水道施設などの主要文化財の整備を進めた。指定文化財関係では、国登録有形文化財2件、県指定文化財3件及び追加指定1件の指定・登録があり、市指定文化財候補物件の文化財調査を1件実施した。また、開発に伴う文化財調査及び指導を行い、文化財等の保護・適正管理を行った。今後、鳥取城跡をはじめ主要文化財の整備を継続するとともに、身近な文化財の保護意識啓発のため、文化財の活用や案内標柱等の充実を図り、鳥取市歴史博物館などの文化施設では、地域の歴史・文化財等に密着した企画展等を開催し、入館者・利用者数の増加を図っていくものとする。</p>
---	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>文化財は本市の貴重な観光素材であり、市民にも身近に感じていただけるよう、鳥取城をはじめとする主要文化財の整備を継続し、新たな情報媒体を含めて広く情報発信していくこと。また、本市の文化財を後世に引き継ぐためにも、文化財の適正管理・指導を徹底するとともに、子ども考古学教室等の体験活動の充実、文化施設のあり方検討とサービス向上・入館者数増を図っていくこと。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	000727	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理事業(指定文化財等管理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	指定文化財等管理費			予算事業コード	01-09-04-05-02-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	・指定文化財(国・県・市など)
意図 (どのような状態にするために)	・文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	・指定文化財を適正に保存・管理するため、清掃管理等を地域の住民にお願いする。 ・指定文化財を市民に広く周知し、啓発するため案内板・道標等を設置する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	平成24年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	平成25年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	平成26年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置 ③民俗芸能の映像記録	平成27年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	
	年度別実績	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。 ③民俗芸能の映像記録を実施した。 ④因幡国庁跡の四阿を修理した。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,891	5,762	6,283	11,096	0	
	直接経費 A	2,142	2,049	2,640	7,335	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	2,009	0
	一般財源	2,142	2,049	2,640	5,326	0	
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	文化財案内看板等設置数	単位	件	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	12	10	10	15	15				
	実績	5	6	6	2	0					
(指標の説明) 文化財の活用を推進するため、案内看板・道標等を設置する											
2	目標	0	0	0	0	0					
	実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)											
3	目標	0	0	0	0	0					
	実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)											

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次</p> <p>6月補正予算・P77(教023)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>市が所有または管理する指定文化財等について、適正な管理を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>◎指定文化財の草刈清掃</p> <p>(鳥取地域) (国) 布勢古墳・太閤ケ平</p> <p>(市) 大熊段古墳・離水海食洞</p> <p>(国府地域) (国) 梶山古墳・伊福吉部徳足比売墓跡</p> <p>(河原地域) (市) 嶽古墳・(市) 武田高信の墓</p> <p>(用瀬地域) (市) 東光寺山経塚参道</p> <p>(佐治地域) (市) 辰巳峠の植物化石層</p> <p>(青谷地域) (県) 阿古山22号墳</p> <p>◎文化財保護に関する会議への参加</p> <p>◎指定文化財標識の新設及び維持管理</p> <p>案内板等の新設・修繕 (市) 大水の庚申塔案内板・(国) 因幡国庁跡四阿修理</p> <p>清掃等管理委託 (国) 梶山古墳・(国) 因幡国庁跡・(国) 栃本廃寺跡</p> <p>◎地域伝統芸能等映像記録保存事業 6件(2/3補助)</p> <p>◎指定候補文化財の調査 樗谿グランドアパート建造物調査</p> <p>平成24年度 2,048千円</p> <p>平成25年度 2,640千円</p> <p>平成26年度 7,355千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>既存の文化財の適正な管理とともに、未指定の文化財等の調査・把握に努める。</p> <p>※その他財源の諸収入は、一般財団法人地域創造支援事業補助金等。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	文化財案内看板等設置数	42%	60%	60%	13%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民共通の財産である文化財の適正な保護が図られる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	現状で文化財を適正に管理できている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	効率的な事業実施に努めている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	文化財保護制度は市民に広く認知されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	既存の文化財の適正な管理とともに、未指定の文化財等の調査・把握に努める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000728	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理事業(池田家墓所)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成16年度 ~ 平成32年度
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	補助金交付
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金			予算事業コード	01-09-04-05-02-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取藩主池田家墓所
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、平成15年度に策定した「保存整備計画」に基づく復元や保存修理・環境整備を行う。また、その成果を活用し、文化財の利活用を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成24年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成25年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成26年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成27年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	
	年度別実績	藩主墓の保存整備工事に係る調査・設計・伐採業務、保存整備委員会の開催、史跡管理と啓発事業	藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,200	11,297	15,704	18,031	0	
	直接経費 A	5,701	9,812	14,247	16,527	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,000	0	0	0	0
一般財源	3,701	9,812	14,247	16,527	0		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	人	目標	300	300	700	800	800
	(指標の説明)		実績	500	500	800	800	0	
2		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 4 4 (教 0 3 4)</p> <p>【事業の概要】 鳥取藩主池田家墓所は、(公財) 史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、日常的な管理事業及び保存修理事業を実施し、いずれも「公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助金等交付要綱」に基づいて鳥取市は補助負担している。 保存修理事業の事業期間は、平成16年度から平成32年度までの予定。</p> <p>【事業の成果】 経費及び管理費の一部を補助し、文化財の保護・保存をはかることができた。 ◎管理事業(単県・市事業：県・市が各1/2の割合で負担) 3,836千円 ※管理人報酬・理事会等管理費と啓発事業(①燈籠会②写真コンクール開催等) 平成24年度 3,580千円 平成25年度 4,097千円 平成26年度 3,836千円 ◎保存修理事業(国庫事業：国1/2、県・市が各1/4の割合で負担) 12,691千円 ※藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会(2回)・27年度の設計。 平成24年度 6,232千円 平成25年度 10,150千円 平成26年度 12,691千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も適正な保存と活用に努めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	167%	167%	114%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民の共有財産である文化財を対象としている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	文化財の滅失を防ぐとともに、その活用が地域の活性化につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	公益財団法人によって取り組まれており、対費用効果は高い。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	文化財の保存活用によって得られる有形無形の利益は、広く市民に還元されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	今後も県と共同で適正な管理・活用を進めていく。		
担当課長の評価コメント			

事務事業評価シート

事務事業コード	000730	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理事業(指定文化財・登録有形文化財)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	補助金交付
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	指定文化財補助金			予算事業コード	01-09-04-05-02-14

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	・指定文化財(国・県・市)
意図 (どのような状態にするために)	・文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	・指定文化財の所有者等が事業主体となり、文化財の保存修理・管理・公開に係る事業に対し補助金を支出し、文化財の適正な保存・管理・活用を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成24年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成25年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成26年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成27年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	
	年度別実績	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,621	7,165	8,908	4,448	0	
	直接経費 A	4,122	5,680	7,451	2,944	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	740	1,009	345	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,122	4,940	6,442	2,599	0	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		指定文化財において適正な保存修理・管理をなされた数	件	目標	33	30	30	30	31
	実績	28	32	35	30	0			
2	(指標の説明)	指定文化財において適正な保存修理・管理をなされた数							
	目標	0	0	0	0	0	0	0	
3	実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P77(教024)</p> <p>【事業の概要】 指定文化財(国・県・市・登録文化財)を後世に残していくための事業費や、伝統行事・民俗芸能など、後継者育成に力を入れるための事業費に対して補助する。「文化財の保存及び保護に関する補助金等交付要綱」により補助。</p> <p>【事業の成果】 指定文化財を後世に残し、受け継いでいくため適正な保存管理・後継者育成等を行うため事業に対して指導並びに補助を行い、円滑に文化財の保護を行うことができた。 26年度は、有形・無形文化財あわせて31件の補助を行った。 平成24年度 5,680千円 平成25年度 7,451千円 平成26年度 2,944千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 指定文化財の保護のために必要な補助については、継続して実施していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	指定文化財において適正な保存修理・管理をなされた数	85%	107%	117%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	文化財保護法に基づく文化財の適正な保護のための事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	所有者による文化財管理を支援することで高い効果を得ている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事業の性質上、少額の補助金があるが、効果的に利用されている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	補助対象は文化財の所有者に限られるが、文化財が保護されることの利益は広く市民に還元される。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	指定文化財の保護のために必要な補助については、継続して実施していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000736	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備事業(鳥取城跡保存修理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	昭和32年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別			平成23年度	平成27年度	事業分類区分
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合			0%	0%	
	主な文化財施設への入込数			8,052人	4,000人	運営方法
予算	予算事業名	鳥取城跡保存修理事業費			会計区分	一般会計
	予算事業コード				01-09-04-05-06-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	「保存整備基本計画」に基づき、史跡鳥取城跡の建造物の復元や石垣の修理、環境整備などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	大手登城路擬宝珠橋跡発掘調査・楯蔵跡の環境整備工事	風呂屋御門跡下石垣修復工事・整備に係る発掘調査	石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る実施設計	石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る実施設計	石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る実施設計	
	年度別実績	大手登城路擬宝珠橋跡発掘調査・楯蔵跡の環境整備工事	大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成・天球丸跡巻石垣前広場整備工事、記録作成・次年度以降工事にかかる発掘調査、記録作成、設計	・大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成 ・天球丸腰石垣修復工事、発掘調査、記録作成 ・次年度以降工事に係る発掘調査、記録作成、設計	・大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成 ・天球丸腰石垣修復工事、発掘調査、記録作成 ・次年度以降工事に係る発掘調査、記録作成、設計		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	105,734	64,701	84,308	97,828	0	
	直接経費 A	92,989	52,077	71,923	85,041	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	61,596	34,605	47,571	56,673	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	1,000	0
	一般財源	31,393	17,472	24,352	27,368	0	
人件費 B	12,745	12,624	12,385	12,787	0		
職員数の内訳	正規職員	1.70	1.70	1.70	1.70	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	%	目標	80	90	95	100	100	
		実績		80	90	95	97	0		
	(指標の説明) 復元整備事業に必要な調査の進捗率									
	2	天球丸腰石垣修復工事	%	目標	5	10	50	100	0	
		実績		5	5	40	80	0		
	(指標の説明) 天球丸腰石垣修復工事の進捗率									
3	大手登城路復元整備事業	%	目標	0	0	0	10	20		
	実績		0	0	0	10	0			
(指標の説明) 大手登城路の復元整備工事を実施する。										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0587-20-3359</p> <p>【9次総の施策体系】1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P245(教036)</p> <p>【事業の概要】 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」(平成18年度策定)に基づき、平成30年度を目標に大手登城路復元整備事業に取り組んでおり、復元の資料を得るための発掘調査を、20年度から補助事業として実施している。</p> <p>【事業の成果】 鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図った。 1. 大手登城路復元整備事業 中ノ御門地区の発掘調査とこれに必要な業務(路盤剥ぎ取り業務、記録作成)を実施した。 2. 石垣保存修理事業 ①石垣修理、排水系の整備とこれに必要な業務(発掘調査、記録作成、設計監理)を実施した。 ②内堀の石垣修理工事の実実施設計を実施した。 平成24年度 52,077千円 平成25年度 71,923千円 平成26年度 85,041千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 大手登城路の復元整備・石垣の保存修理等を着実に実施していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	100%	100%	100%	97%	
	2	天球丸腰石垣修復工事	100%	100%	80%	80%	
	3	大手登城路復元整備事業				100%	

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民からのニーズが高く、国指定文化財として整備活用を進める必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	史跡を保存し活用するためには不可欠な事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	文化財の保存整備工事として、高い水準の工事を適正な費用で実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	整備活用の利益は市民に広く還元される。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 大手登城路の復元整備・石垣の保存修理等を着実に実施していく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	000737	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備事業(史跡鳥取城跡活用推進)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期	
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例	
施策	1202	文化財の保存・活用					
施策の目標	目標の種別			平成23年度	平成27年度	事業分類区分	
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合			0%	0%		ソフト(義務)
	主な文化財施設への入込数			8,052人	4,000人	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	史跡鳥取城跡保存整備事業費			予算事業コード	01-09-04-05-06-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意図 (どのような状態にするために)	市民の史跡への理解を深め、利活用の推進と全国への情報発信を図る。
手段 (どうするのか)	「鳥取城フォーラム」や見学会、展覧会等を実施し、情報発信と利活用の推進に努める。 史跡全体の調査研究、利活用を推進する。復元整備のために必要な調査研究、基本設計業務を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鳥取城フォーラムの開催・見学会の実施・見学路の実験的整備・調査研究事業の実施	平成24年度 中ノ御門跡復元整備基本設計・鳥取城フォーラム・見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	平成25年度 中ノ御門跡復元整備基本設計・鳥取城フォーラム・見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	平成26年度 大手登城路復元整備・鳥取城フォーラム、見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	平成27年度 大手登城路復元整備・鳥取城フォーラム、見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	
	年度別実績	鳥取城フォーラムの開催・見学会の実施・見学路の実験的整備・調査研究事業の実施	鳥取城フォーラム・見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	中ノ御門跡復元整備基本設計・鳥取城フォーラム、見学会の実施・調査研究事業の実施	大手登城路復元整備・鳥取城フォーラム、見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,498	7,809	34,982	44,607	0	
	直接経費 A	1,749	1,868	24,054	34,076	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	715	531	7,505	21,092	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,034	1,337	16,549	12,984	0
人件費 B	3,749	5,941	10,928	10,531	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.80	1.50	1.40	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	鳥取城フォーラム等イベント実施数	単位	回	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			実績	3	3	2	2	2				
	(指標の説明) 活用事業の実施数											
	2	事業参加者数	単位	人	目標	700	1000	500	600	700		
			実績	700	1200	1500	2000	0				
	(指標の説明) 事業実施による史跡利用者数(イベント参加者+事業期間中の見学者)											
3	中ノ御門跡基本設計の進捗率	単位	%	目標	40	50	80	100	0			
		実績	40	50	70	100	0					
(指標の説明) 復元整備に必要な調査と設計												

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【9次総の施策体系】1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 4 6 (教037)</p> <p>【事業の概要】 市民の強い要望を受け、平成17年度に「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」、18年度に「鳥取城跡保存整備実施計画」を策定し、長期計画に基づく史跡鳥取城跡の保存整備の促進と史跡の活用を図っている。</p> <p>【事業の成果】 1, 400人の来場者を得た「鳥取城フォーラム」(山城サミットと共同)の開催など、鳥取城跡の史跡としての保存と活用を推進し、地域の核となる文化財としての価値を高めるとともに、地域文化の振興や周辺地域活性化、文化財愛護意識の醸成を図った。 昨年度に引き続き、大手登城路、中ノ御門跡等の建造物保存整備基本設計を実施した。 平成24年度 1, 868千円 平成25年度 24, 054千円 平成26年度 37, 077千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 従来別事業だった保存修理事業と平成27年度から統合し、より総合的な史跡の保存活用に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">※その他財源のその他は、シンポジウム助成事業助成金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取城フォーラム等イベント実施数	167%	100%	250%	200%	
	2	事業参加者数	100%	100%	300%	333%	
	3	中ノ御門跡基本設計の進捗率	100%	100%	88%	100%	

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民ニーズが高く、国の文化財として整備活用することが妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	来訪者の増加等の活用につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	適正なコストで事業が実施できている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	広く市民全般に利益が還元される事業である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	これまで別事業としてきた鳥取城跡の保存修理事業と平成27年度以降は統合し、総合的な整備活用を図る。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000748	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保護・整備事業(青谷上寺地遺跡)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成16年度 ~ 全期	
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例	
施策	1202	文化財の保存・活用					
施策の目標	目標の種別			平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合			0%	0%		
	主な文化財施設への入込数			8,052人	4,000人	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	上寺地遺跡管理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-16-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡青谷上寺地遺跡
意図 (どのような状態にするために)	史跡青谷上寺地遺跡は現在、約14万5,553㎡の広さがあり、範囲内には市有地、県有地及び私有地が混在しており、史跡内の私有地について県が公有化を進めている。また、平成22年3月には県と共同で「国史跡青谷上寺地遺跡 保存管理計画及び整備活用基本計画」を策定し、将来的な復元建物等の整備を構想しているが、それまでの間は、環境保持と情報発信を進める。
手段 (どうするのか)	史跡地内の市有地及び県有地についてはそれぞれが除草・水路管理等を実施するものとし、史跡青谷上寺地遺跡等の情報発信及び体験事業については、県、市及び関係団体で組織する青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で連携して活動を行い、全国的な知名度アップと来訪者数の増加を目指すものとする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 史跡地内の維持管理	平成24年度 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	平成25年度 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	平成26年度 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	平成27年度 史跡地内の維持管理	
	年度別実績	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,293	4,180	6,124	5,826	0	
	直接経費 A	1,294	1,210	3,210	2,817	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,294	1,210	3,210	2,817	0	
人件費 B	2,999	2,970	2,914	3,009	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.40	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		史跡内の草刈等の環境整備実施回数	回	目標	4	4	4	4	4
	実績	3	4	4	4	0			
2	(指標の説明)	史跡内の草刈等の環境整備実施回数							
	目標	0	0	0	0	0	0	0	
3	実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 4 7 (教 0 4 0)</p> <p>【事業の概要】 青谷上寺地遺跡は「地下の弥生の博物館」と称される、弥生時代の多種多様な遺物が大量に出土している貴重な遺跡であり、平成20年に国史跡に指定された。その後も、22年8月5日、23年9月21日、25年10月17日及び26年10月6日付けで追加指定され、現在の指定面積は146,132.99平方メートルである。 史跡の保存活用事業推進のため、平成22年度に鳥取県と鳥取市を事務局とする青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会を設立し、史跡指定地内での田んぼアート等、様々な活動を行っている。</p> <p>【事業の成果】 青谷上寺地遺跡公園の遺跡保護と景観の保全管理、そして史跡保存活用協議会の円滑な事業運営に努めた。 遺跡公園内の市有地部分や水路周辺など公園区域内の除草作業を実施し、周辺の水田・住宅等に影響を及ぼさないよう、遺跡の保護と景観の保全管理を行った。 また、活用協議会の活動により、史跡の活用が図られた。 (除草業務委託、青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担金) 平成24年度 1,210千円 平成25年度 3,210千円 平成26年度 2,817千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 青谷上寺地遺跡の整備計画が明確化するまで当面の間、現状を維持する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	75%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	貴重な文化財であり、保存活用を図っていく必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本格的な整備が始まるまで、文化財の存在をアピールし適正に管理するために不可欠の事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	上寺地遺跡史跡保存活用協議会の取り組みにより、効率的に事業が実施されている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業の成果は、関係者・来訪者だけでなく、市民全体に還元されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	青谷上寺地遺跡の整備計画が明確化するまで当面の間、現状を維持する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000751	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保護・整備事業(美歎水源地)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成19年度 ~ 平成30年度
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	美歎水源地保存整備事業費		予算事業コード	01-09-04-05-25-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	重要文化財旧美歎水源地水道施設
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	建造物の保存修理と環境整備を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 調査工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	平成24年度 調査工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	平成25年度 修理工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置 委員会の実施	平成26年度 修理工事 環境整備工事 特別公開の実施 委員会の実施	平成27年度 修理工事 環境整備工事 特別公開の実施 委員会の実施	
	年度別実績	調査工事(建造物、地盤、橋梁) 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	調査工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	修理工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置 委員会の実施	修理工事 環境整備工事 特別公開の実施 委員会の実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	17,187	25,633	17,964	34,997	0	
	直接経費 A	11,939	20,435	12,864	29,732	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,406	12,556	7,473	19,613	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,533	7,879	5,391	10,119	0
人件費 B	5,248	5,198	5,100	5,265	0		
職員数の内訳	正規職員	0.70	0.70	0.70	0.70	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		美歎水源地の建造物修理工事の進捗率	%	目標	0	0	20	50	70	
			実績	0	0	20	50	0		
	(指標の説明) 建造物の保存修理の進捗率									
	2	特別公開・見学会等の参加人数	人	目標	0	0	150	200	250	
				実績	0	0	150	100	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取県整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【9次総の施策体系】1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 4 8 (教 0 4 1)</p> <p>【事業の概要】 旧美敷水源地水道施設は、鳥取市の水がめとして大正から昭和にかけて60年にわたって使用された水道施設で、かつての上水道施設のありようを伝える貴重な近代化遺産として、平成19年6月に国の重要文化財に指定された。これを受け「旧美敷水源地水道施設保存整備基本計画」を策定、この計画に基づき、平成20年度から長期的視点に立った保存整備を行っている。</p> <p>【事業の成果】 平成24年度 20,434千円 建造物保存修理のための調査工事を実施した。 平成25年度 17,822千円 建造物保存修理工事(制水井3号・4号上屋)を実施し、保存活用計画を策定した。 平成26年度 29,732千円 (1) 建造物保存修復工事・環境整備工事を実施(29年度まで実施)した。 (2) 利活用事業として特別公開を実施した。 (3) 保存整備検討委員会を開催した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度末での事業完了を目標に着実に事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	美敷水源地の建造物修理工事の進捗率			100%	100%	
	2	特別公開・見学会等の参加人数			100%	50%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	山陰初の水道施設として重要文化財に指定されており、保存・活用に取り組み必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	経年変化による劣化が進んでおり、文化財保存のための修理は緊急を要する。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	他に例のない文化財建造物であり、修理方針の確立等に時間を要している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	文化財として、広く市民に還元される。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度末での事業完了を目標に着実に事業を実施する。整備完了後は一般公開を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000743	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(文化財調査)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	文化財調査費		予算事業コード	01-09-04-05-11-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	開発原因者
意図 (どのような状態にするために)	遺跡の範囲を確認し、開発事業との調整を図る。
手段 (どうするのか)	開発事業計画区域内に試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		試掘調査の実施	試掘調査を実施	試掘調査を実施	試掘調査を実施	試掘調査を実施	
年度別実績		試掘調査件数 20件	試掘調査件数 18件	試掘調査件数 24件	試掘調査件数 14件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	36,127	41,498	30,497	26,387	0	
	直接経費 A	24,881	30,359	19,569	15,104	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	8,322	11,962	8,684	6,564	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	16,559	18,397	10,885	8,540	0	
人件費 B	11,246	11,139	10,928	11,283	0		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	1.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		試掘調査を実施した遺跡数	件	目標	18	18	18	18	18	
			実績	20	18	24	14	0		
	(指標の説明) 試掘調査を実施した遺跡数									
	2	開発事業との協議件数	件	目標	100	100	100	150	150	
				実績	240	163	245	267	0	
(指標の説明) 開発事業との協議件数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 4 7 (教 0 3 9)</p> <p>【事業の概要】 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。</p> <p>【事業の成果】 各種開発事業との調整を図るために試掘調査を14件実施した。 (調査箇所) 秋里遺跡 462.0㎡ 宅地造成ほか 日光長谷遺跡 97.5㎡ 鳥取西道路 鳥取城跡 39.8㎡ 鳥取県立鳥取西高等学校改築 大井所在遺跡 14.0㎡ 市道建設計画 ほか 計 14件 1,332.12㎡</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>調査面積</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>18件</td> <td>1367.05㎡</td> <td>30,359千円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>24件</td> <td>1016.79㎡</td> <td>19,569千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>14件</td> <td>1332.12㎡</td> <td>15,104千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 近年、高速道路などの大型公共事業のほか民間開発に伴う問い合わせ件数も増加傾向にあり、公共工事だけでなく民間開発にも対応できるように体制を強化する必要がある。</p>		件数	調査面積	決算額	平成24年度	18件	1367.05㎡	30,359千円	平成25年度	24件	1016.79㎡	19,569千円	平成26年度	14件	1332.12㎡	15,104千円
		件数	調査面積	決算額													
平成24年度	18件	1367.05㎡	30,359千円														
平成25年度	24件	1016.79㎡	19,569千円														
平成26年度	14件	1332.12㎡	15,104千円														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	試掘調査を実施した遺跡数	111%	100%	133%	78%	
	2	開発事業との協議件数	240%	240%	245%	178%	178%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる事業を把握する必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる事業に対して、試掘調査を実施し、調整を図る。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	開発事業に応じて適切な試掘調査箇所数及び遺構面等の確認を行っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる開発事業はもとより、遺跡の範囲を確認するための調査については行政が負担している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる開発事業については、今後も試掘調査等を実施しながら調整を図る必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000744	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化財体験・活用推進事業(出土品保存修理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	出土品保存修理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-11-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	発掘調査で出土した遺物
意図 (どのような状態にするために)	出土品が滅失しないように維持管理する。
手段 (どうするのか)	劣化の進行度合いにより出土品の優先順位を決め、順番に保存処理を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	出土品の保存処理 2件	出土品の保存処理 1件	出土品の保存処理 3件	出土品の保存処理 2件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,879	1,953	1,963	1,960	0	
	直接経費 A	1,380	468	506	456	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	920	312	336	304	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	460	156	170	152	0	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		出土遺物を保存処理した件数	件	目標	2	1	3	1	1
	実績	2	1	3	2	0			
(指標の説明) 発掘調査により出土した遺物に保存処理を実施した件数									
2	目標	0	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P278</p> <p>【事業の概要】 発掘調査後から劣化していく出土品の保存処理を行うことにより、遺物の適切な管理を行う。</p> <p>【事業の成果】 広岡81号墳から出土した銅鏡及び青谷横木遺跡・金沢坂津口遺跡から出土した木簡の保存処理を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 発掘調査で出土した鉄製品や木製品は環境の変化により急速に劣化が進行していくので、劣化の進行具合を見極めたうえで順次保存処理を実施していく。また処理後の遺物については展覧会を開催し、市民に成果を還元していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出土遺物を保存処理した件数	100%	100%	100%	200%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	出土遺物を適切に保管・管理している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	出土遺物が劣化していかないように保存処理が行われている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	保存処理が計画的に行われている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	出土遺物は国民の共有財産であり、適切に保管・管理していくためには今後も継続的に実施する必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も計画的に保存処理を実施し、出土遺物の適切な管理・保管に努める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000752	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	埋蔵文化財体験・活用事業(埋蔵文化財体験・活用)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	埋蔵文化財体験・活用事業			予算事業コード	01-09-04-05-30-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民及び市内の小学校
意図 (どのような状態にするために)	出土品を直接触れる機会を創出したり、発掘調査の成果を市民に公開する場を設ける。
手段 (どうするのか)	出土品の活用を図るために小学校へ出前授業を実施する。展示会は博物館はもとより、公民館や図書館等の施設で開催し市民へ調査成果等を還元する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成24年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成25年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成26年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成27年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	
	年度別実績	・出土品の展示会(駅南庁舎 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳公開、バスツアーの開催) ・小学校への出前授業(市内30校) ・レプリカの作製	・出土品の展示会(駅南庁舎 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳、柗本廃寺跡、太閤ヶ平) ・小学校への出前授業(市内34校)	・出土品の展示会(やまびこ館 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳、柗本廃寺跡、太閤ヶ平) ・小学校への出前授業(市内31校)	・出土品の展示会(駅南庁舎 1回) ・遺跡の見学会(地区公民館 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳、柗本廃寺跡、太閤ヶ平) ・小学校への出前授業(市内33校)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,187	3,954	4,137	2,823	0	
	直接経費 A	1,938	1,726	1,951	566	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,387	1,143	1,409	424	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	551	583	542	142	0
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	発掘展の入場者数	人	目標	0	0	500	1000	1000
		(指標の説明) 発掘展の入場者数		実績	0	0	2500	1000	0
	2	遺跡見学会の参加者数	人	目標	0	0	100	130	160
		(指標の説明) 遺跡見学会の参加者数		実績	0	0	300	179	0
	3	出前授業実施率	%	目標	0	0	68	72	80
		(指標の説明) 出前授業実施率		実績	0	0	70	70	0

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 多くの市民に地域の歴史を知ってもらい、文化財保護の啓発を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校への出前授業を実施した。(市内44校中33校) ・鳥取市中央図書館及び地区公民館で埋蔵文化財展を行った(約1000名) ・史跡の見学会を行った(179名) <p>【今後の課題・方向性】 小学校への出前授業では、実施校の満足度高く、次年度以降も希望する学校はほぼ100%である。今後は授業内容に変化を持たせ未実施の学校へも働きかけをし、最終的には全学校で実施できるようにする。展示会は博物館だけではなく、公民館や図書館等の施設で開催し、より積極的に市民へ調査成果等を還元できるようにする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	発掘展の入場者数			500%	100%	
	2	遺跡見学会の参加者数			300%	138%	
	3	出前授業実施率			103%	97%	

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	埋蔵文化財の調査成果を公表・活用することによって市民の文化財への関心や保護の意識を高めることができる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	埋蔵文化財を有効に活用することができており、今後は内容を拡充していく必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	他の団体と連携を図り、文化財の公開活用が行われている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業の募集案内やイベントの広報など公平性に努めた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	整備した史跡等の活用や出土遺物を広く市民に見ていただく機会を創出し、より文化財に親しみを持っていただけるように事業を拡充させていく必要がある。	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次 当初予算・P 2 4 6 (教 0 3 8)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>仁風閣は、明治40年、当時の皇太子(後の大正天皇)の山陰行啓に際し、宿舍として建設されたものであり、昭和48年に国重要文化財に指定された。仁風閣のほか宝扇庵及び宝隆院庭園の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに文化財愛護思想の啓発を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>指定管理者による管理運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者：(公財)鳥取市文化財団(平成23年度から27年度まで) ○業務の範囲：仁風閣等の利用に関する業務 施設・設備の維持管理に関する業務 企画展示等に関する業務等 <p>適正な業務執行により、入館者数は34,000人を超えた。また、観光などのイメージシンボルとして、外観の写真等が利用されている。</p> <p>(入館者数)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>平成24年度</td><td>34,755人</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>29,239人</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>34,615人</td></tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>引き続き指定管理による適正な管理を図るが、老朽化が進んでいるため、近い将来本格的な修理を実施する。あわせて、活用方針等を再検討する。</p> <p>※その他財源の諸収入は、全国市有物件災害共済会共済金。</p>	平成24年度	34,755人	平成25年度	29,239人	平成26年度	34,615人
平成24年度	34,755人						
平成25年度	29,239人						
平成26年度	34,615人						

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	108%	106%	94%	112%	
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合			110%	100%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	重要文化財として保存活用していく必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	建造物を適正に管理・活用できている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	文化財的価値に配慮しながら、さらに活用する余地はあると考えられる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	文化財としての価値は市民共有のものであるが、入館者からは料金を徴収している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	引き続き指定管理による適正な管理を図るが、老朽化が進んでいるため、近い将来本格的な修理を実施する。あわせて、活用方針等を再検討する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000754	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成13年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の設置及び管理に関する条例・鳥取市あおや郷土館の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別			平成23年度	平成27年度	事業分類区分
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合			0%	0%	施設管理
	主な文化財施設への入込数			8,052人	4,000人	運営方法
予算	予算事業名	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館運営管理費等			予算事業コード	01-09-04-05-32-01
			0	0	会計区分	一般会計

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 鳥取市あおや郷土館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	38,081	39,137	36,174	37,976	0	
	直接経費 A	35,832	36,909	33,988	35,719	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,383	5,960	4,377	4,814	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	10	19	24	143	0
		一般財源	31,439	30,930	29,587	30,762	0
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	人	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		(指標の説明) 利用者数	目標	11000	10000	7500	7750	8000	
			実績	7886	7864	8427	9061	0	
	2	あおや郷土館の利用者数	人	目標	8000	9000	8000	8400	8800
		(指標の説明) 利用者数	実績	6825	9761	6899	10146	0	
	3	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	50	55	60
(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	0	0	53	56.6	0		

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次 当初予算・P248 (教042)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>鳥取市青谷上寺地遺跡展示館及びあおや郷土館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、常設展示・特別展示・体験活動等を通じて文化財愛護の啓発育成を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>指定管理者による施設運営を実施した。</p> <p>○指定管理者：(公財)鳥取市文化財団 (平成23年度から27年度まで)</p> <p>○業務の範囲：青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館の管理運営全般 展示館等の利用に関する業務 施設・設備の維持管理に関する業務 企画展示等に関する業務</p> <p>以上の業務の実施により、あおや郷土館に10,146人、青谷上寺地遺跡展示館に9,061人の入館者があった。また、あおや郷土館のロビーに、ジオパーク、海女漁、鳴り砂、和紙及び青谷上寺地遺跡紹介コーナーが設置された。</p> <p>(入館者数)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">あおや郷土館</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">青谷上寺地遺跡展示館</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成24年度 9,631人</td> <td style="text-align: center;">平成24年度 7,698人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成25年度 6,899人</td> <td style="text-align: center;">平成25年度 8,427人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成26年度 10,146人</td> <td style="text-align: center;">平成26年度 9,061人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>当面現状を維持するが、ジオパークや青谷上寺地遺跡の整備計画等、周辺事業との整合を図りつつ、今後のあり方を検討する。</p> <p>※その他財源の諸収入は、建物等損害共済金。</p>	あおや郷土館	青谷上寺地遺跡展示館	平成24年度 9,631人	平成24年度 7,698人	平成25年度 6,899人	平成25年度 8,427人	平成26年度 10,146人	平成26年度 9,061人
あおや郷土館	青谷上寺地遺跡展示館								
平成24年度 9,631人	平成24年度 7,698人								
平成25年度 6,899人	平成25年度 8,427人								
平成26年度 10,146人	平成26年度 9,061人								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	72%	79%	112%	117%	
	2	あおや郷土館の利用者数	85%	85%	86%	121%	
	3	満足度調査の総合で良いと答えた割合			106%	103%	

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域文化の発信拠点、また青谷上寺地遺跡の情報発信拠点として重要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	展覧会や地域の文化活動の発表の場として(あおや郷土館)、出土品の展示等の場として(展示館)所期の目的を達している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施設の管理コストや老朽化対策が必要となりつつある(特に郷土館)。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	上寺地遺跡展示館の利用者は比較的広域にわたるが、あおや郷土館の利用者は近隣の住民が多い。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	当面現状を維持するが、ジオパークや青谷上寺地遺跡の整備計画等、周辺事業との整合を図りつつ、今後のあり方を検討する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000756	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(歴史博物館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成12年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市歴史博物館の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	指定管理
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	歴史博物館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-34-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市歴史博物館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を推進する。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	149,855	162,415	155,406	158,484	0	
	直接経費 A	147,606	160,187	153,220	156,227	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	49	49	59	61	0
		一般財源	147,557	160,138	153,161	156,166	0
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取市歴史博物館の利用者数	人	目標	27000	28000	26000	27000	28000
	(指標の説明) 利用者数		実績	38042	22614	44045	33815	0	
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	50	55	60
		(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	0	0	54	50.2	0
	3			目標	0	0	0	0	0
(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 4 9 (教 0 4 3)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市歴史博物館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、常設展示・特別展示等を通じて文化財の愛護思想の啓発育成を図る。</p> <p>【事業の成果】 ・施設管理運営 ○指定管理者：(公財)鳥取市文化財団 (平成23年度から27年度まで) ○業務の範囲：博物館の利用に関する業務 施設設備の維持管理に関する業務 企画展示等に関する業務 『共催展 長通寺の襖絵～八百谷冷泉の画業～』 『特別展 鳥取のお殿様～天下人と歩んだ池田家～』 『市合併10周年記念事業 因幡民談記の世界～江戸時代の学者が見た因幡～』</p> <p>・第2駐車場警備委託 (入館者数) 平成24年度 22,614人 平成25年度 44,045人 平成26年度 33,815人</p> <p>【今後の課題・方向性】 施設・常設展示等が老朽化しつつあり、効率的な対策を検討していく必要がある。 ※その他財源の諸収入は、施設使用に伴う諸経費。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取市歴史博物館の利用者数	141%	81%	169%	125%	
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合			108%	91%	91%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市の歴史文化の発信拠点として必須である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	常設展示や施設の更新等、企画展覧会以外の活動の有効性が開館当初より低下している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	老朽化する施設と旧態化する常設展示の更新等について、効率的な方法を検討する必要がある。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	来館者だけでなく、市の歴史文化の発信によって、活動は市民に広く還元されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	施設・常設展示等が老朽化しつつあり、効率的な対策を検討していく必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000757	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(因幡万葉歴史館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成 6年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市因幡万葉歴史館の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	指定管理
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	因幡万葉歴史館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-35-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市因幡万葉歴史館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	53,406	57,523	55,083	55,790	0	
	直接経費 A	49,657	53,810	51,440	52,029	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	506	329	273	398	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,344	24	21	22	0
	一般財源	47,807	53,457	51,146	51,609	0	
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		因幡万葉歴史館の利用者数	人	目標	20100	20500	21000	22000	23000
			実績	21156	28668	22019	23732	0	
		(指標の説明) 利用者数							
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	50	55	60
				実績	0	0	58	71.8	0
	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次 当初予算・P 2 4 9 (教 0 4 4)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>鳥取市因幡万葉歴史館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、展示等を通じて文化財の愛護思想の啓発を図る。また、万葉歴史館に隣接する国府史跡ネットワーク案内広場の維持管理を行う。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>①鳥取市因幡万葉歴史館の管理運営を行った。 指定管理者：(公財)鳥取市文化財団 (平成23年度から27年度まで) 業務の範囲：歴史館の利用に関する業務 施設・設備の維持管理に関する業務 企画展示等に関する業務</p> <p>②国府史跡ネットワーク案内広場の維持管理を行った。</p> <p>③因幡万葉企画事業</p> <p>④空調設備改修</p> <p>⑤常設展示設備等の改修</p> <p>⑥開館20周年記念事業を開催した。 (入館者数)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>平成24年度</td><td>28,668人</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>22,019人</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>23,732人</td></tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>施設・常設展示等が老朽化しつつあり、将来的なあり方を検討していく必要がある。</p>	平成24年度	28,668人	平成25年度	22,019人	平成26年度	23,732人
平成24年度	28,668人						
平成25年度	22,019人						
平成26年度	23,732人						

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	因幡万葉歴史館の利用者数	105%	140%	105%	108%	
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合			116%	131%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	因幡地方を特徴づける万葉文化の情報発信や、や地域の文化活動の拠点として活用されている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	入館者数、アンケート等では、順調に成果が上がっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施設の老朽化に伴う改修等の費用がかかっているが、当初設計の関係で効率的な改修ができない。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	来館者だけでなく、活動を通じた市の歴史文化の発信により、活動は広く市民に還元されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	施設・常設展示等が老朽化しつつあり、将来的なあり方を検討していく必要がある。	